
平成26年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

東日本大震災から4年が経過しました。当協会の社会貢献活動¹は、被災地を支援する活動として開始し、平成26年度からは各地の特別支援学校の教育環境の整備および就労教育を支援する活動も開始しました。

社会貢献活動の実施に際しましては、多くの関係者のご支援とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

以下では、当協会の社会貢献活動の概要、平成26年度の社会貢献活動の実施状況²、平成27年度の活動計画をご紹介します。

1. 社会貢献活動の概要

当協会の社会貢献活動では、リース業界の特色を活かし、会員会社から無償で提供を受けたリース終了パソコン³を公的教育機関に寄贈する活動を行っており、これまでに、東日本大震災の被災地の公的教育機関、各地の特別支援学校に1,152台のリース終了パソコンを寄贈しました。

寄贈するリース終了パソコンは、清掃、ソフトウェアのインストール、動作確認等を行い、寄贈先ですぐにご活用いただける状態に

整備して寄贈しています。

また、平成26年度からは、障がいのある生徒の就労に向けた教育活動に協力する活動を開始しました。

平成26年度においては、①東日本大震災復興支援活動、②特別支援学校に対する支援活動、③リース業界における社会貢献活動事例調査を行いました。

2. 東日本大震災復興支援活動

東日本大震災により甚大な被害を受けた被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の復興を促進することは、わが国の社会的な課題の一つです。

当協会においては、この課題に向けた取り組みを支援する活動として、平成23年度から被災3県の公的教育機関への寄贈活動（平成25年度上期終了）を行うとともに、平成24年度から公益社団法人全国学校図書館協議会様と連携し、被災3県の将来を担う次世代に対する教育活動を支援すべく、公的教育機関に設置された学校図書館にリース終了パソコンとバーコードリーダーを寄贈する活動を行ってきました。

平成26年度においては、被災3県の学校図書館68校に対して、68台のリース終了パソコ

-
- 1 当協会の社会貢献活動は、国内外の社会的課題に対して、リースおよびリース事業を基盤とした社会貢献活動を行い、その活動を社会に等しく公表することにより、リースおよびリース事業の適正な理解の促進を図ることを目的として実施しています。
 - 2 年度ごとの実施状況は、当協会ホームページ（<http://www.leasing.or.jp>）に掲載しています。
 - 3 平成26年度にリース終了パソコンを提供した会員会社名は12頁に掲載しています。

ンを寄贈しました⁴。この活動は、平成26年度をもちまして終了しましたが、これまでの間に182台のリース終了パソコンを被災3県の学校図書館に寄贈しました。

学校図書館に寄贈したリース終了パソコンは、学校図書館の各種教育活動にご活用いただいています。

〈寄贈先の状況（例）〉

- ▶ 震災を機に親が職を失う生徒の経済的ダメージは大きく、家庭にパソコンを設置している生徒が少ない。生徒がパソコンに触れる機会が少ないことは、子供の将来にとって好ましくない。
- ▶ 仮設校舎での授業を余儀なくされている生徒たちにとって、図書館はオアシスであり、施設を充実したものにしたい。
- ▶ 全校生徒の28%が仮設住宅で生活、就学支援を受けている生徒の割合も多く、家庭で読書用の本を購入することが困難な家庭も多く、学校が本との限られた出会いの場となっている。
- ▶ 校舎が津波により甚大な被害を受けた。新校舎への引越作業中で多くの図書が失われたが、様々な支援により学校図書館の復旧に取り組んできた。

※寄贈先からいただいた情報等に基づき作成しました。
すべての寄贈先の状況は13頁に掲載しています。

〈リース終了パソコンの活用方法（例）〉

- ▶ 寄贈いただいたパソコンを学校図書館に設置することで、子供たちは調べ学習を通して、パソコンの良さを実感でき、さらにはより深い知識と教養を身につけることができる。
- ▶ 寄贈いただいたパソコンを設置することにより、情報収集の場としての図書館機能を充実させ、様々な事情を抱えている生徒たちが課題解決のために図書とインターネットを使用し情報検索できる環境を整えたい。

- ▶ 震災、WindowsXPパソコンのサポート終了によるパソコン不足で図書館用のパソコンを割り当てる余裕がなかったが、寄贈いただいたパソコンを活用し、図書教育の充実を図る。
- ▶ 震災と原発事故は様々な形で生徒たちに影響を与えているが、居心地がよく使い勝手の良い図書館の存在は生徒の心の安定と学習の充実、目指す進路の実現に必要なものであり、寄贈いただいたパソコンを有効活用させていただきたい。

※寄贈先からいただいた情報に基づき作成しました。
すべての寄贈先の状況は13頁に掲載しています。

3. 特別支援学校に対する支援活動

障がいのある児童・生徒の教育環境及び就労に向けた教育活動を充実させることは、わが国の社会的な課題の一つです。

当協会においては、この課題に向けた取り組みを支援する活動として、平成26年度から各地の特別支援学校にリース終了パソコンを寄贈する活動を行うとともに、東京都立港特別支援学校において、就労に向けた教育活動に協力する活動を行いました。

(1) リース終了パソコン寄贈活動

特別支援学校においては、児童・生徒の障がいに応じた教育活動がきめ細やかに行われていますが⁵、障がいのある児童・生徒が増加⁶しているなかで、教育活動に用いるパソコンが不足するなどの課題を抱えています。また、東日本大震災復興支援活動を行うなかで、リース終了パソコンを寄贈した被災地の特別支援学校から教育活動および施設整備の現状などを伺う機会がありました。

4 ソフトウェアについては、日本マイクロソフト株式会社様のシチズンシップライセンス（Windows7、Office2010）を活用させていただきました。

5 教員1人当たりの児童・生徒数は、特別支援学校1.7人に対して、小学校15.8人、中学校13.8人、高等学校14.2人となっています（文部科学省学校基本調査：平成26年12月より）。

6 特別支援学校に在籍する児童・生徒数は過去5年間平均で毎年3%ずつ増加、一方、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒数は過去5年間平均で毎年0.8%ずつ減少しています（文部科学省学校基本調査：各年調査より）。

当協会では、このような課題および実態を踏まえ、特別支援学校の教育環境の整備を支援する活動として、平成26年度に青森県、長野県、広島県、福岡県に所在する特別支援学校25校に対して、リース終了パソコン50台を寄贈しました⁷。

この活動は、平成25年度から被災地および茨城県に所在する特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動として開始しましたが、これまでの間に105台のリース終了パソコンを各地の特別支援学校に寄贈しました。

各地の特別支援学校に寄贈したリース終了パソコンは、生徒の作業実習や、パソコンの操作練習、インターネットを利用した調べ学習などに活用されています。

〈寄贈先の状況（例）〉

- ▶ 幼児・児童・生徒がより理解を深めるため、ICT機器による授業支援は積極的に行っているが、活用が進むほど利用可能な機器が日常的に不足している。
- ▶ 電子黒板に接続するパソコンがなく、整備された電子黒板が活用できない。
- ▶ 医療的ケアの児童が増えており、医療ケアの看護師用のパソコンが必要である。
- ▶ 授業用のパソコンの稼働率は高いが、故障しているものもあり、常に不足している状況である。
- ▶ パソコンを壊してしまう不安もあり、重複障がいの幼児・児童・生徒へのパソコンの積極的な活用につながらない。
- ▶ 児童・生徒はパソコン授業に好感を持っているが、パソコンが少なく、使用の不自由さをとても残念がっている。

※寄贈先からいただいた情報等に基づき作成しました。すべての寄贈先の状況は13頁に掲載しています。

〈リース終了パソコンの活用方法（例）〉

- [視覚障がい]
- ▶ 子供たちが自由に扱うことができるパソコンとして活用したい。重複障がいの子供たちへ積極的な活用につながる。
 - ▶ インターネット検索やタイピングの練習に活用する。
- [聴覚障がい]
- ▶ 日本語能力の発達に遅れが生じやすい傾向があり、言葉の学習や学習のふりかえり、思考の材料としてパソコンを活用したい。
 - ▶ 3Dモデリングマシンの操作として使用したい。
- [知的障がい]
- ▶ 情報処理検定、ワープロ検定のための入力、チラシ・ポスターの作成、生徒1人にパソコンを1台ずつ使用して個性ある作品を製作したい。
 - ▶ 技能競技大会（アビリンピック）参加生徒の課題練習用に活用したい。
- [病弱・肢体障がい]
- ▶ 医療ケアの看護師用のパソコンとして使用する。
 - ▶ 学習活動の様子を写真発表等のために使用したい。

※寄贈先からいただいた情報に基づき作成しました。すべての寄贈先の状況は13頁に掲載しています。

〈寄贈先でのパソコン活用状況〉



※平成25年度寄贈先：被災地特別支援教育施設におけるカレンダー作成作業（平成26年7月撮影）。

7 ソフトウェアについては、日本マイクロソフト株式会社様のシチズンシップライセンス（Windows7）を活用させていただきました。

(2) 作業学習に対する協力活動

特別支援学校においては、児童・生徒の卒業後の就労に向けた教育活動の一つとして、作業学習⁸が行われています。

一方、特別支援学校の高等部卒業者の85%が知的障がいのある生徒であり、知的障がいのある卒業者のうち31%が企業就労、64%が社会福祉施設等に入所・通所をしており⁹、就労に向けた教育活動を今まで以上に充実させることは、特別支援教育において重要な課題となっています。

当協会では、このような実態を踏まえ、障がいのある生徒の就労に向けた教育活動に協力し、また、この活動が経済界に浸透することを目指し、平成26年度から東京都立港特別支援学校の作業学習に協力する活動を開始しました。

この活動は、リース及びリース事業を基盤としているリース会社をはじめとする企業の事務補助業務に就労することを念頭に、作業学習に参加する生徒が企業就労への関心を深め、事務の基本を習得していただくこと及び、

第三者とのコミュニケーションをより多くとることを目標として行いました。

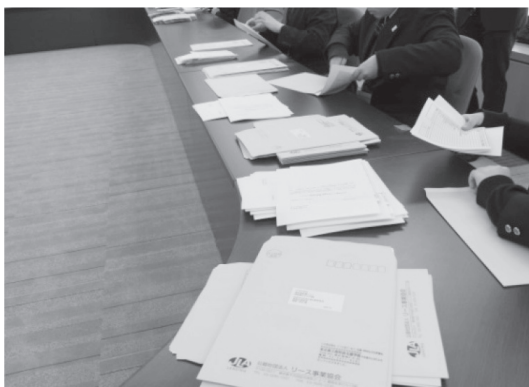
具体的には、郵便物の発送業務、メモ帳作成業務を作業学習の教材として提供するとともに、企業就労に必要なビジネスマナーの基本、事務の基本を習得するための講義を行いました。

作業学習に参加した生徒達は、回を重ねるごとに作業の仕上がりとスピードが向上し、また、積極的に発言する機会も多くなり、生徒同士でお互いにコミュニケーションをとりながら作業を進めている様子がうかがえました。

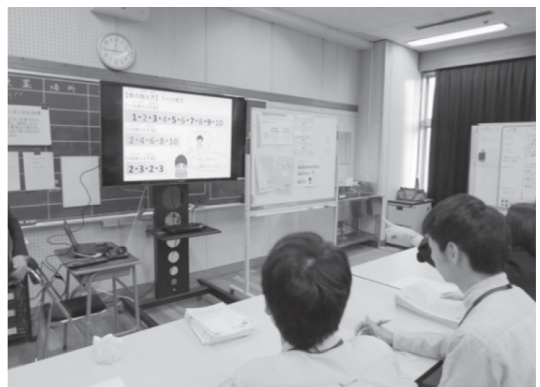
1年間にわたり当協会の作業を誠実に行っていただいたことへの感謝の意を表すために、作業学習に参加した情報コースの生徒一人一人に感謝状を贈呈するとともに、事務・小売コース宛に感謝状を贈呈しました。

当協会の活動に対する、港特別支援学校の教職員および関係者の皆様方のご支援・ご協力にあらためて感謝申し上げます。

〈作業学習の様子〉



〈事務講座の様子〉



8 作業学習とは、「作業活動を学習活動の中心にすえ総合的に学習するものであり、児童・生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立を目指し、生活する力を高めることを意図する」(文部科学省・学習指導要領)とされ、具体的には、製品の製造、各種サービス、事務、ビジネスマナーの教育などが行われています。

9 平成26年3月卒業者(文部科学省学校基本調査：平成26年12月より)

〈平成26年度の作業学習内容〉

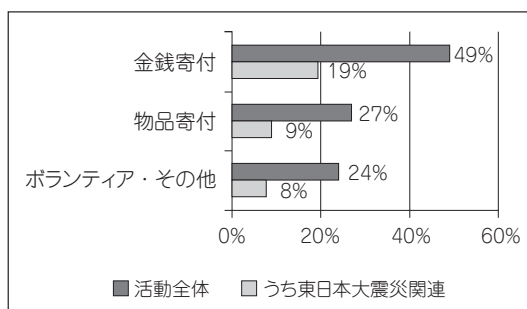
作業学習教材	作業学習内容	作業学習成果
会員会社宛の郵便物の発送業務	・別納印、学校印（港特別支援学校の生徒が発送作業に携わった旨の表示）の押印 ^(※) ・封筒への宛名ラベル貼付 ・封入物の丁合、封入、封緘 ・発送数の確認	地区代表者会議・実務者会議の案内状、割賦・延払等統計調査表（平成26年度上期分）、リース年次統計調査表（平成26年度分）合計868通
月刊リース平成26年5月号の発送業務 ^(※)	同上	社会貢献活動にご協力いただいた関係先への発送分 143通
メモ帳等作成 ^(※)	・使用済み用紙を再利用したメモ帳等の作成	事務局使用分 300枚

*作業学習は、港特別支援学校の情報コースの生徒9名が参加し、(※)を付した作業学習については、同校の事務・小売コースの生徒が参加しました。

〈作業学習に対する学校の評価・生徒の感想〉

[学校の評価]
▶ 生徒が良い緊張感の中で、企業就労に必要な事務作業の技能・知識を学ぶことができた。
▶ 同一の作業を繰り返すことにより、作業のスピード・正確性が向上した。
[生徒の感想]
▶ 作業を丁寧に進められた。
▶ 緊張したが、作業リーダーを任されてうれしかった。

【図1：社会貢献活動の内容】



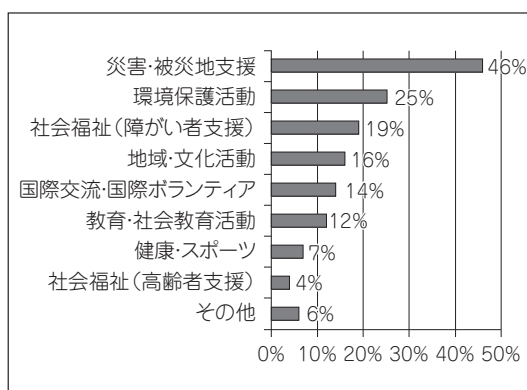
4. 社会貢献活動事例調査

当協会では、リース及びリース事業を広く社会にご理解いただく活動の一つとして、リース業界における社会貢献活動の実施状況に関するアンケート調査を、当協会正会員91社を対象に行い、その結果を当協会ホームページと月刊リース2015年2月号で公表しました。

正会員の行う社会貢献活動（139件）を活動内容別に分類すると、金銭寄付（49%）、物品寄付（27%）、ボランティア・その他（24%）という結果となりました。そのうち東日本大震災関連の活動は、金銭寄付（19%）、物品寄付（9%）、ボランティア・その他（8%）となっています（図1参照）。

物品寄贈においては、リース業界の特色を

【図2：社会貢献活動の分野】



活かした活動として、パソコンなどのリース終了物件を寄贈する活動が行われています。

正会員の行う社会貢献活動を分野別に分類すると、災害・被災地支援（46%）が最も多

く、次いで環境保護活動（25%）、社会福祉・障がい者支援（19%）が多い結果となりました（図2参照）。

5. 平成27年度の活動計画

平成27年度の社会貢献活動では、以下の2項目の活動を計画しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習教材については、会員会社から募集します。

①東日本大震災復興支援活動

東日本大震災の被災地域において教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う公的機関または非営利団体にリース終了パソコンを寄贈します。

また、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）において、「ものづくり」の基礎教育を行っている工業高等学校に分解・組立等実習用のリース終了パソコンを寄贈します。

②特別支援学校に対する支援活動

各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動を継続して実施します。

また、東京都立港特別支援学校をはじめとする各地の特別支援学校に対して作業学習の教材を提供するなど就労に向けた教育活動を支援する活動を行います。

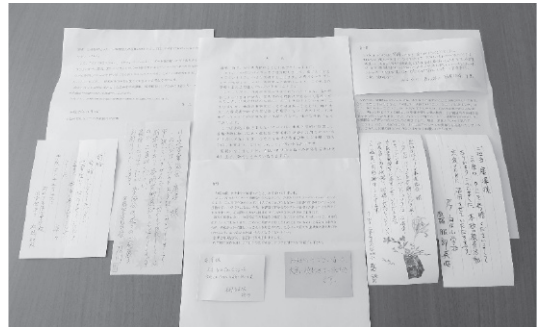
さいごに

本誌の13ページから29ページに、リース終了パソコンを寄贈した教育機関から寄せられた教育機関の現状や寄贈したリース終了パソコンの活用方法などをくわしく掲載しています。

被災地および特別支援学校の教育現場の実情とともに、先生方の生徒への思いが伝わってきますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

さいごになりましたが、当協会の社会貢献活動は、会員会社の協力のもと、多くの関係者の方々のご支援のおかげで支えられていますことを感謝申し上げます。今後とも、本事業にご協力いただけますようお願い申し上げます。

寄贈先からいただいたお礼状



〈リース終了パソコンを提供した会員会社（平成26年度）〉

[正会員：10社]

日立キャピタル(株)／JA三井リース(株)／東京センチュリーリース(株)／三菱UFJリース(株)／興銀リース(株)／IBJL
東芝リース(株)／東京TYリース(株)／日通商事(株)／芙蓉総合リース(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)

[賛助会員：1社]

中日本バンリース(株)

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の 公的教育機関への寄贈活動 865台寄贈			
	②被災3県の学校図書館への寄贈活動 182台寄贈		
		③各地の特別支援学校への寄贈活動 105台寄贈	

〈リース終了パソコンの寄贈台数（累計）〉

寄贈先 所在地	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	累 計
岩手県	43台	45台	11台	35台	134台
宮城県	139台	195台	31台	7台	372台
福島県	342台	138台	53台	26台	559台
茨城県	－	－	37台	－	37台
青森県	－	－	－	6台	6台
長野県	－	－	－	20台	20台
広島県	－	－	－	6台	6台
福岡県	－	－	－	18台	18台
合 計	524台	378台	132台	118台	1,152台

※寄贈台数には故障などによる代替機の提供数を除いています。

当協会では、平成27年度の社会貢献活動を実施するために、リース終了パソコンと作業学習の教材を会員会社から募集しています。詳細は会員専用ホームページJLA-Net General 掲示板「社会貢献活動」をご参照いただくか、協会事務局までお問い合わせください。

(参考資料)

寄贈パソコンの活用方法など

*寄贈PC応募時に各教育機関からいただいた情報および、寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

【岩手県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
中学校	図書館の規模は小さいものの、蔵書が約2600冊あり、ジャンルも多岐にわたっていますが、学校図書館の運用にパソコンは利用しておりません。学校図書館の管理・新刊図書の登録は今でも台帳に手書きで行っており、せっかく図書を新しく購入しても、図書の登録に多くの時間を要しております。また、図書の管理においても台帳や管理資料の劣化、紛失など管理にリスクが出てきていることや、次の学校図書担当への引継ぎが煩雑であることなど、問題が出てきている現状です。生徒や教職員が簡単に効率よく学校図書館を利用できるように、今回のパソコン寄贈への申し込みを機会に、パソコンによる図書管理システムの導入を検討しているところです。	(蔵書管理) 蔵書の登録・新刊図書の登録・除籍処理・図書検索など。(学校図書利用者管理) 利用者の登録・紹介・変更・削除、貸出中の図書の照会など。(貸出・返却管理) 図書の貸出・返却、返却延滞者の管理など。
小学校	図書室には蔵書・貸出管理用のシステムを導入済みで、図書委員会の子どもたちを中心に日々の貸出業務に活用しています。蔵書には新刊本として配架する際にバーコードを添付し、バーコードリーダーを使用して効率的な貸出作業が行えています。	蔵書管理を行う端末は図書室に備え付けとなっています。デスクトップ型の端末のため移動が困難で、学期末などに全校児童の読書冊数の確認を行ったり、年間多読者賞の打ち出しを行ったりするためには、図書室に移動しその端末を使うしかない状況です。もしノートブック型の端末があれば、校内ネットワークを介して職員室での蔵書確認が容易になり、図書管理事務上に際して大変助かります。本校の校地及び施設については、直接の被災はしておりません。しかし校庭には仮設住宅が建ち、運動環境には多くの制約がある状況です。また、他県や近隣の市町村から転校してきた被災児童が複数名在籍しており、本校児童の中にも住宅が被災した児童や保護者が震災のために職を失った児童などがみられます。
中学校	学校の図書室に2台のパソコンを配置している。Windows XPのサポートが終了したので、緊急措置として、コンピュータ室から2台のWindows 7パソコンを移動させて使用している。	パソコンで蔵書の管理、生徒への図書の貸出、返却の処理を行っている。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
中学校	現在、学校図書館にはパソコンがなく、蔵書の管理および生徒への本の貸出については、すべて紙媒体で行っている。パソコン室にはパソコンを設置しているが、図書館業務との関連はない。	蔵書の管理および資料のデータベース化を図ることで、利用しやすい図書館経営を目指す。また、生徒への開放を行うことで、総合的な学習や教科の中で調べ学習を行い、学習教材と学習支援環境の充実を図っていきたい。学校図書館を学習センターや情報センターとして利用していくためにもパソコンの設置は有用である。校舎に大きな被害はなかったが、天井の板が一部落下し修繕を要した。生徒の中には、震災を機に親が職を失う者もあり、経済的・精神的に大きなダメージを受けた。特に経済的なダメージは大きく、家庭にパソコンを設置している生徒は少ない。現在の情報化社会において、中学生がパソコンに触れる機会が少ないことは、子どもたちの将来にとって好ましいことではない。設置していただけることで、子どもたちは調べ学習を通して、パソコンの良さを実感でき、さらにはより深い知識と教養を身につけることができる。
小学校	図書館の本の貸出にバーコード処理をして、パソコンで管理しています。1台しかないので、不便さを感じているところです。	新たにもう1台いただけるなら、図書室での調べ学習に使ったり、混雑時には2台で貸出処理対応をしたり…と大変便利になり、児童の読書活動への力強い手助けになると思います。
小学校	常設の物がなく、担当者に配布されたPCを使用している。	蔵書の管理や、データ入力、掲示物の作成など、利用範囲はとても広い。体育館は避難所として、最大700名を超える地域住民を受け入れた。(3月～7月26日まで)校庭にも浸水したが校舎は無事であった。被災児童も多く、まだ仮設住居から登校する児童もいる。
中学校	学校図書館用のパソコンはありません。	蔵書管理のため。本の紹介や貸出の記録のため。ありがとうございました。
中学校	学校図書館用(図書管理用)パソコンは全くない状況。	蔵書の管理にパソコン・バーコードリーダーを活用することによって、生徒が借りたい本を検索したり、授業に利用する本を教員が検索したりできるような図書館環境の整備に活かしたいため。校舎の被災は免れたが、現在も仮設住宅で生活する生徒は全校生徒の28%に及ぶ。また就学支援を受けている生徒の割合も多く、家庭で読書用の本を購入することが困難な家庭も多い。そのため、学校が本との限られた出会いの場となっている。図書館をより円滑に活用できる環境の整備が望まれる。いつも温かいご支援ありがとうございます。
小学校	学校図書館に設置されているパソコンは無い状況である。	図書管理・ネットワークを活用した書籍検索。学校周辺地域が被災し、現在復興工事が進められている。校庭の半分が仮設住宅地として利用されている。
小学校	現在、本校の学校図書館には、パソコンが設置されていない。	効率的な蔵書管理を行うためにパソコンを設置・活用したい。一気にバーコード化を図るのは、予算の関係もあり、不可能であるが、パソコンを活用することで、独自に蔵書管理システムを構築することは可能だと考えている。

【岩手県・その他】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	デスクトップ型パソコン2台	図書の出貸・返却。蔵書管理。
高等学校	システムをインストールしたサーバ機（デスクトップ型）とクライアント機（ノート型）が1台ずつ、また、情報検索用のデスクトップ型パソコンが3台ある。	蔵書点検を行う際、現在はクライアント機1台で行っているが、図書委員の人数を有効活用できていない。もう1台ノート型PCがあれば手分けして蔵書点検が行える。また、一般生徒が蔵書を検索するPCとしても活用したい。本棚から本が落下し、片付け・整理して生徒が使えるようになるまでにだいぶ時間がかかってしまった。これから生徒が心地よく使える図書館づくりのために努力していきたいと考えている。
中学校	蔵書の管理（図書原簿の入力）。インターネット。市立図書館とのネットワーク。	蔵書の管理。インターネット。市立図書館とのネットワーク。
小学校	図書館用のパソコン1台。	インターネットによる調べ方学習に活用するため。校舎半壊のため、校舎新築となり、本年度3学期から使用開始である。ありがとうございました。大事に使わせていただきます。
小学校	Windows 7 Professional デスクトップです。	市の図書館の蔵書検索。国会図書館から書誌情報を使用する時。ワードによる本の掲示の作成。エクセルで廃棄図書のリスト作成。
中学校	なし	データベース化を行いたい。内陸のため、大きな被災はなかったが、福島から避難の為に転入した生徒がおり、図書委員会に所属している。 お申し出ありがとうございました。
小学校	学校図書館へのパソコン配置はありません。	図書管理
小学校	1台配置	児童用貸出・委員会活動に利用。
中学校	視聴覚用のパソコンはありますが、学校図書館（蔵書管理用として）のパソコンはありません。	蔵書管理（原簿登録用）、貸出状況のデータ化、将来的には地域図書館とのネットワーク化。津波や地震の揺れによる直接的な被害はありません。ただ、当時の「恐怖による心的ストレス」を抱えている生徒が在籍しています。
小学校	設置されていない。	蔵書の管理。図書の出貸の効率化。
小学校	以前より財政が厳しく、学校図書館にパソコンは設置されていません。	学校図書にパソコンがないため、蔵書管理は原簿記入のみで、正確な蔵書点検が非常に難しい状況です。図書館にパソコンとバーコードリーダーが設置されることで、蔵書データ化を進め、管理と貸出がスムーズに、正確にできるようにしていきたいと考えております。
中学校	生徒が使用できるものは設置されていません。	今後、パソコンによる貸出を検討しています。図書室のカウンターに設置し、貸出業務や蔵書検索のためのパソコンとして生徒に使用させたいと考えています。本校は、壁のひびや物品の落下程度の被害ですみ、大きな被災は受けておりません。生徒が利用しやすい図書室環境づくりに活用させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	以前より財政が厳しく、学校図書館にパソコンは設置されていません。	蔵書管理は、データ化が望ましいのですが、未だ原簿管理のため、正確な蔵書点検が非常に難しい状況です。図書館へパソコンとバーコードリーダーが設置されることで、無料蔵書管理ソフトをダウンロードし、蔵書のデータ化を進めていきたいと考えております。
小学校	学校図書館では使用していないが、パソコン室に数台入っている。	図書館の蔵書管理に利用したい。また、図書室を使用した人の数を把握したい。
小学校	2台で運用。ただし2台ともキーボードの一部が欠けており、別途USBキーボードを使用している。	学校図書館貸借システム用として。学校関係の予算はなかなか自由が利かなく、不自由しておりました。今回の事業、大変ありがたく思っております。よろしく願いいたします。
小学校	メインパソコン1台、貸出用パソコン2台。	図書館の貸出等の業務に活用することで、円滑に作業をすすめる。(児童数が多いので1台でも貸出できるパソコンが増えると混雑の解消につながります)
中学校	市教育委から1台設置済。	図書の貸出業務を円滑に行うため。
小学校	起動に時間がかかり、作業が滞ることがある。	図書館の蔵書管理や、図書の貸出・返却を行う。
小学校	2台のパソコンが配置されているが、主に図書の貸出の管理等に利用している。学校の職員の他に、ほぼ毎日のように図書館ボランティアの方が3人~4人ほど来校して、パソコンを利用しながら学校図書館活動のお手伝いをいただいている。	学校図書館の貸出管理や蔵書の管理を円滑に行う。
小学校	本の貸出や返却を1台のパソコンで行っている。昼休みのみ貸出を行っているが、1台のパソコンで返却と貸出を同時に行わなければならないため、パソコンの前に行列ができていない状態である。蔵書点検を職員で分担して行っているが、行える時間が限られるため、図書館を閉館する日数が長くなってしまっている。	本の貸出や返却。蔵書管理。
中学校	現在、図書館専用のパソコンはなく、蔵書数や寄贈図書の管理は個人のパソコンで行っている状況である。	今年度より購入した図書に管理用のバーコードシールが貼られるようになった。しかし、バーコード管理のシステムが整っていないため、今後の検討事項であった。今回、寄贈していただけるのであれば、本格的にバーコードでの図書管理をすすめ、学区にある他の小・中学校とも連携していきたい。本校は、岩手の内陸部に位置しており、東日本大震災の被害はほとんど受けていない状況である。しかし、沿岸部の被災地から生徒の受け入れをしたり、被災地の学校との交流を行っている。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	現在、図書館専用のパソコンは設置されていない。図書台帳をデータベース化し、データ管理しているが、共有のサーバで管理しているため、入力作業や確認作業を職員室で行わなければならない状況である。また、図書管理のアプリケーションを導入する動きがあるが、まだ具体的に至っていない。そこで、図書の受け入れを迅速に行い、児童にできるだけたくさんの本に触れさせるために、この機会を活用し、図書の受け入れ体制を強化したいと考えている。	①図書台帳の管理・作業用パソコンとしての活用。図書専用パソコンとして図書の受け入れ作業、管理作業を行う。共有サーバで管理していた図書台帳データを本機で管理し、共有サーバはバックアップとして、クラッシュ等の万が一の事態に備える。②貸出業務への活用(将来的に)。図書管理アプリケーションの導入後、バーコード管理に移行すると考えられる。本機を活用し、スムーズな貸出、返却作業を行う。③児童会図書委員会での活用。児童会の図書委員会の活動の一部として、読書啓発のポスター制作や読書冊数調査などが考えられる。その際、本機にインストールされているアプリケーション(OFFICE 2010)を活用し、児童の主体的な活用に資する。
小学校	設置しておりません。	蔵書台帳の管理をする予定です。ソフト等の整備を進められたら、バーコードでの蔵書管理も考えています。
小学校	現在学校図書館にはパソコンはありません。	学校行事等で撮影した写真の保存及び編集・活用。図書委員会での活用。本の整理、管理にも検討中です。本校では直接の被害はありませんが、停電、断水、給食の供給ストップなど、しばらくは困りました。被災地の小学校との被災地交流を継続して実施。できる限りの支援を行っています。大変ありがとうございました。有効に活用させていただきます。
小学校	学校図書館に設置されているパソコンはなし。	平成26年度以降電算化予定。図書の電算化(バーコード化)に伴い、貸出や返却作業・検索に使用したい。沿岸部被災児童の受け入れ。リース終了パソコン寄贈のご案内、ありがとうございます。

【宮城県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	なし。学校用のノートパソコンを持っていき、蔵書等の打込みに活用することはあるが、作業が終われば、また元に戻す状況。	図書館で図書の蔵書管理等の作業を行うため、図書館専用のパソコンを置いて使いたい。現在は、貸出をカードに手書きでおこなっているが、バーコードを読み取る方法での貸出にも対応できるよう環境を整えたい。
小学校	図書室でパソコンは使用しておらず、本読みカード等による管理を行っている。また、図書台帳を使用しているが、すべて手書きによるものなので、手間のかかる作業となっている。	今年度より、パソコンを用いた図書管理システムが配備されることとなったので、専用のパソコン・バーコードリーダーによる図書の管理を行うことで、児童への本の貸出や蔵書の管理等、図書館運営の効率化が図られると考えられる。震災以降、全国各地から図書を寄贈して頂いている。多くの方からご支援頂いたたくさん本を大切に管理するために、本校では図書管理システムの配備を決定した。しかしながら、図書管理システムのためのパソコンを配備することは予算的にも難しく苦慮していたところである。パソコンの寄贈をして頂くことで、子どもたちの読書活動をより推進することができるものとする。本当に助かります。どうもありがとうございました。 パソコンが届きました。本当にありがとうございます。大切に使用させていただきます。 このたびは、パソコンを寄贈いただきありがとうございます。いただいたパソコンは、図書室で本の蔵書管理等に活用させていただきます。学校の申し出を快諾し、迅速に対応していただいたことに職員一同、感謝申し上げます。
小学校	学校図書館用のパソコンは有りません。	図書管理のため。
小学校	蔵書管理用パソコンが1台設置されている。蔵書管理プログラムを使い、教職員、及び図書委員会児童が蔵書の管理（本の登録、蔵書の貸出や返却作業等）を行っている。	1台のパソコンと併せて、蔵書の管理に使用したい。そうすることで作業の効率化を図るとともに児童の読書への意欲を更に高めることにつながると考える。（図書管理システムのライセンスに問題がなければであるが。）また、状況に応じて、図書室内での児童用の調べ活動に活用したい。東日本大震災により、校舎1階が津波の被害を受け甚大な被害を受けた。学校図書館は2階にあり浸水は免れたが、旧校舎から新校舎への引越作業中のため、引越作業中の多くの図書が図書台帳と共に失われてしまった。その後、様々な支援を受け、図書担当を中心にしながら全職員で学校図書館の復旧に取り組んできた。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
小学校	学校図書館専用のパソコンはない。	<p>県立図書館や市立図書館の書籍の検索。廃棄図書一覧の作成。お話会のポスターなど掲示物の作成など。平成24年4月に東日本大震災で大きな被害を受けた小学校と統合した。まだ、仮設住宅から通学している児童がおり、以前の様な落ち着いた生活環境には至っていないが、児童は元気に学校生活を楽しんでいる。児童の心を和まし豊かにしてくれる一方策が読書活動なので、今後も図書の充実につとめていきたい。震災から3年が過ぎても尚、ご支援くださる皆様に感謝。学校図書館もバーコード化が望ましいと思われるが、バーコード化、及びその維持・管理の費用面から実現は難しいと考えている。</p> <p>この度は、パソコンをご寄贈いただき、ありがとうございました。なかなか購入できずにおりましたので、大切に使用させていただきます。当校は、明日の1学期終業式を終えますと夏休みに入ります。今年度、プールが新設されて、子どもたちは、元気に水泳に親しんでいるところです。</p>
高等学校	<p>定時制課程である本校の図書室にはパソコンがなく、図書検索や貸出の際にデータ管理が不十分な状況です。これらの蔵書のデータ化を進めていきたいと考え、パソコンを必要としています。さらに、バーコードリーダー等の機器により、併設している全日制の図書室との連携をとりたいと考えています。</p>	<p>パソコンを利用して蔵書をデータ化することで、図書検索やバーコードによる貸出を可能にし、生徒に快適な読書環境を提供したいと考えています。また、データ化によって併設されている全日制の図書室と図書情報を共有できるようにし、図書室利用の活性化を図りたいと思います。早速のご手をありがとうございます。図書の担当者も今夏に早速、所蔵図書の整理に取りかかるとできると喜んでおります。いただくパソコンを活かして生徒の読書環境を整えたいと思います。本当にありがとうございます。</p> <p>パソコンを確かに受け取りました。生徒に還元できるよう、有効活用に努めます。本当にありがとうございました。</p>

【宮城県・その他】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
高等学校	全4台（1台：司書事務処理用／1台：貸出カウンター用／2台：生徒利用）	<p>図書館内の図書検索専用機として設置したい。（生徒自身が操作するように）本校は内陸に位置しているため、校舎には大きな被害はありませんでした。（窓ガラス破損など）図書館では、蔵書の7割程度が書架から落下し破損した本もありましたが、施設や備品はほとんど破損はありませんでした。</p> <p>先日、送付していただいたパソコン一式を受領しました。早速ありがとうございました。</p>

【福島県・沿岸部※】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
中学校	各教科での調べ学習・総合学習の調べ学習	デジタル教科書等のソフト利用等
高等学校	<p>現在、ノートパソコン2台を、インターネット回線に接続し、生徒の調べ物等に利用できるようにしていますが、このパソコンは情報部（校内の組織）より一時的に借用しているものであり、返却しなければなりません。しかし、県から配分される需用費だけでは、新たに図書館用のパソコンを購入する予算は確保できない状況です。また、新校舎建設中ということもあり、今後パソコンを購入するための新たな予算が追加配分されることも難しい状況にあります。また、インターネットに接続していることもあり、セキュリティの面から、作成した書類等を保存できない設定にされております。このようなこともあり、図書委員が図書便りや図書館の掲示物などを作成したり、司書が図書館系の書類を作成するのにも支障がある状態です。</p>	<p>図書委員や司書が文書等作成するために使用できるパソコンがない状況です。もしパソコンを寄贈していただいた場合は、図書委員が図書便りを作成したり、司書が統計をまとめる報告書の作成や、図書に関わる様々な書類を作成する際に使用する予定です。東日本大震災の影響により、本校舎に亀裂が入るなどの被害があり、現在生徒が使用できない場所が大半を占めております。そのため、現在は仮設校舎での授業を余儀なくされております。図書館も、震災以前に使用していた場所は使用できないことから、それまで普通教室として使用していた部屋を借りて運営しております。スペースにも限りがありますので、生徒が主に借りるような本を精選し、教室のキャパシティに合わせた冊数だけを並べるなど、規模を縮小した形にしております。しかし、この夏より、今現在図書館として利用している教室がある建物も、改築工事が始まるため、再度図書館の移動をしなければなりません。空き教室の問題もあり、新校舎完成までは、これまでの半分のスペースで、さらに小さな規模での図書館運営をしていかざるを得ないような状況です。</p> <p>先日はパソコンを寄贈いただきまして、大変ありがとうございました。おかげさまで、これまで予算がつかず、購入することができなかった図書館司書用のパソコンを設置することができました。今後、図書館に電算化のシステムを取り入れることも考えておりますので、その際にも大いに利用させていただきたいと考えております。震災の影響もあり、仮設校舎での授業を余儀なくされている生徒たちにとって、図書館はオアシスでもあります。なるべく施設を充実したものにしていきたいと考えてはおりますが、予算がつかず難しいところもありますので、こういった形での援助は大変有難く存じます。このたびは本当にありがとうございました。</p>
小学校	<p>市教育委員会から支給されたノートPC（Windows XP）を使用。図書管理ソフトを利用し、図書の貸出や返却及び蔵書の管理を行っている。</p>	<p>学校図書館において、児童が調べ学習を行う時に使用する。児童会図書委員会の活動において、図書に関する掲示物や「図書委員会だより」を作成するときに使用する。図書の貸出や返却に関する管理のために使用する。現在も放射線の空間線量が安定的ではないため、児童の健康・安全のため線量の測定や対策をしながら、教育活動を行っています。</p> <p>この度は、PCを寄贈くださりましてありがとうございました。本校の教育活動充実のために、活用させていただきます。</p>

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
高等学校	蔵書管理用パソコン1台（Windows 7） 司書業務用パソコン1台（Windows 7）	生徒の情報検索や図書委員会の活動（図書便りの作成など）に使用する予定です。図書室や書架に大きな被害はありませんでした。多くの資料が地震により落下しましたが、床がカーペット敷きだったため、資料には大きな傷みはありませんでした。生徒の中には自宅が津波の被害や地震による被害を受けた者、原発事故により避難している者も多数います。パソコンを設置することにより、情報収集の場としての図書館の機能を充実させ、様々な事情を抱えている生徒達が課題解決のために本とインターネット双方を使用し情報検索できる環境を整えたいと考えています。この度は、リース終了パソコンのご寄贈、誠にありがとうございます。
高等学校	司書室に1台あるが、Windows XPモデルの為使用されていない。	生徒の学習・検索用。図書だより等、資料作成。校舎は高台にあるため、津波の直接的な被害はなかったが、校門までは、津波が押し寄せてきたくらい海が近い。震災当時は、避難所となり、図書館は避難所となった体育館の近くにあるため、物置場として使われたり、人の出入りが多いため、長期間閉館を余儀なくされた。自宅が津波により水に浸かってしまった生徒もおり、返却されない本もあった。現在は少しずつ、町の復興も進み一見落ち着いているように見えるが、生徒一人ひとりの心の内を聞くと、いまだ、心の傷を抱えている感は否めない。各関係機関より本のプレゼントがあったり、多くの方々に支えていただいていることを実感している。生徒数も減りつつ、厳しい状況の中にはあるが、出来る限り図書館を活性化し、生徒達の心の成長・安定に努めていきたいと考えている。
特別支援学校	使用していない。	蔵書の管理に使用する。除染が済み、今年度から校庭を使用できるようになりましたが、震災後は屋内での活動が多く、本を読むことが児童生徒の楽しみの1つでもありました。パソコンを寄贈して頂きましたら、図書管理に役立て、ますます学校図書を充実させていきたいと思えます。このたびはパソコンを寄附していただき、ありがとうございました。早速、活用させていただきたいと思えます。
高等学校	本校は定時制の高校というせいもあるのか、学校司書の配置がありません。このことが関係しているのか、本校には図書館用のパソコンがありません。	蔵書のデータベース作成、貸出業務での使用を目的にしています。また、可能であれば、生徒の検索利用にも使用したいと考えております。今回の震災では、図書館の入っていた校舎が大きな被害を受けて改築しているところですが、しかしながら、その間蔵書を保管する場所を十分に確保できなかったために、少なくとも冊数の図書を処分してしまいました。新校舎は来春完成する予定なので、それまでの間に少しでも図書館の情報をデータ化したいと考えております。何かとお世話になり、誠にありがとうございました。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
中学校	蔵書全ての登録ができていない。図書カードでの貸出を行っている。パソコンの読込が遅いため、図書委員の使用ができない状況。	読込も遅く、図書業務が整っていないため、ソフトをインストールし直して図書業務を行いたい。天井がはがれたり、壁にひびがはいたりしたが図書には今のところ影響はない。 お心づかい、本当にありがとうございます。
小学校	図書室に1台配置し、蔵書の管理をするために使用している。	校務の効率化を図るため。
中学校	三校が仮設校舎で一つの図書館を共有しています。三校分の蔵書を区別して管理するためには、パソコンによる蔵書管理が必須と思われます。しかし、現在図書室はパソコン室を兼ねるためパソコン室の教師用親機として使用されています。蔵書データや利用者の個人情報管理の上では、図書室専用の管理用パソコンが必要と考えています。	町内三つの学校の蔵書を区別して管理すること。個人および小・中の学級への貸出・返却の手続きを行い、利用状況を蓄積・管理すること。校種や学校間の所蔵者を問わず、小・中の児童・生徒が図書を利用しやすくすること。町の本校舎で使用していた機器類及び蔵書は現在使用できない状況にあります。本来行うべき教育活動を円滑に行うための環境整備を進めるにあたり、学校図書館に管理用の専用パソコンの設置を希望いたします。
高等学校	2台（貸出カウンター用1台、インターネット閲覧用1台）を使用しています。貸出カウンター用には、蔵書管理システムを入れて蔵書管理・貸出業務をおこなっています。生徒が館内の蔵書を検索するためのパソコンがありません。	蔵書検索用として使用したく思います。蔵書が電算化されてからしばらく経ちますが、生徒が蔵書検索で使えるパソコンがなく、せっかくの蔵書データを有効活用できていません。インターネット閲覧用の1台に蔵書検索用のソフトを入れることも可能ですが、インターネット利用者と蔵書検索利用者の利用が重なり、大変不便です。生徒が自らすばやく資料を探せるように、ぜひ蔵書検索用のパソコンを設置してあげたいと思っております。貴協会からご支援いただけると大変ありがたいです。 この度は、リース終了パソコンの寄贈についてご案内くださりまして、ありがとうございます。震災や原発事故を乗り越えて勉学・部活動に励んでいる生徒のため、少しでも彼らの情報収集活動を支援してあげたいです。しかし、学校の予算が減少する中で、新規にパソコンを購入することは大変困難な状況です。そのような中、貴協会からの寄贈のご案内は大変ありがたいものです。もしご支援いただけた際には、すぐに蔵書検索用のパソコンとして整え、生徒の利用に供したいと存じます。また、バーコードリーダーは、蔵書点検及び蔵書登録の際に活用させていただきたいと思っております。どうぞよろしく願い申し上げます。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
		<p>この度はパソコンをご恵贈賜りまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。大震災からすでに3年が経過しましたが、原発事故の被害は大きく、この地域の復興もまだまだ進んでいない現状にあります。しかしながら、原発事故後に校舎を追われた当校も、元の校舎に戻って2年が経ち、震災前の高校に戻るべく邁進しております。生徒や教師の人数は、以前より減少している中ではありますが、地域の進学校として学習活動はもとより、昨年実施した震災後初めての文化祭をはじめとして、部活動では3つの部が全国大会に出場するなど、様々な事柄に励んでおります。この度お送り頂きましたパソコンは、本校図書館に設置し、各種活動に励む生徒・教職員の情報収集活動に活用させていただきたいと存じます。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様の御健勝と益々の御発展を御祈念申し上げ、御礼とさせていただきます。</p>

【福島県・その他】

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
特別支援学校	<p>震災その他による2度の校舎移転に伴い、十分なスペースが確保できないため図書の整理を行い、1600冊ほどの図書を開架しています。パソコンも図書用に振り分ける余裕がないため担任教師の指導の下、自由貸出の状態となっています。</p>	<p>児童生徒のインターネットを利用した調べ物活動の他、学校図書の検索、貸出の管理等に利用したいと考えています。東日本大震災や本校が入居している病院の建て替え等に伴いスペースが十分に確保できず、利用頻度や近年の児童生徒の実態に応じて図書を整理し、現在約1600冊で図書館活動を実施しています。震災によるパソコンの故障や、XPのサポート停止によりパソコン数も十分ではないため、現在図書に振り分けるパソコンがない状況ですので、パソコンを寄贈して頂けると大変助かります。このたびパソコンを寄贈して頂くこと、誠にありがとうございます。震災後、少ないパソコンで業務を行っていたため、大変助かります。重ねて感謝申し上げます。</p> <p>このたびは、パソコン、マウス、バーコードリーダーを御寄贈いただきありがとうございます。震災、XPパソコンのサポート終了等によるパソコンの不足のためなかなか図書用にパソコンを割り当てる余裕がなかったのですが、このたび御寄贈頂きましたパソコンを活用し、図書教育の充実を図っていききたいと考えております。皆様に重ねて感謝申し上げます。</p>
特別支援学校	<p>学校図書用としてのパソコンはなく、使用していません。</p>	<p>図書貸出簿の整理。蔵書の整理等。</p>
小学校	<p>図書館には1台もパソコンがない状況なので、是非パソコンを1台置きたいと考えている。</p>	<p>検索・貸出冊数の管理、蔵書の管理、掲示物を作るため。宜しく願い致します。</p>

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
高等学校	蔵書検索用と貸出・返却用の各PC（共にデスクトップ）のOSがXPのため、インターネットに接続できない状況。	どちらかのPCと交換し、蔵書管理の円滑化、調べ学習の充実、図書委員会活動の活発化につなげたい。図書館の被害は施設・設備の一部破損、蔵書の落下程度で済んだが、震災と原発事故はいまだに様々な形で生徒たちに影響を与えている。そのような状況の中で、居心地がよく使い勝手の良い図書館の存在は生徒の心の安定と学習の充実、目指す進路の実現に必要なものであり、そのためにぜひ今回のPCを有効活用させて頂きたい。ご連絡ありがとうございました。パソコンが届くのを楽しみにしております。 この度はご寄贈本当にありがとうございました。図書館にて大切にさせていただきます。
高等学校	学校図書館には現在、パソコンが2台あります。1台はカウンターで図書の貸出・返却用として利用し、1台は閲覧室で生徒の資料検索用として利用しています。カウンターにあるパソコンはWindows XPで、現在、インターネットに接続せずに利用していますが、平成15年度に購入したもので速度も大変遅く、あらゆる処理に時間がかかる状況です。	カウンターに置き、図書の蔵書管理システム（貸出・返却等）として使用していきたいと思います。送付いただいたパソコンと付属品、受理しました。パソコンも何の問題もなく、機能しています。ありがとうございました。
中学校	学校図書館に1台あります。この1台で、蔵書の管理として、蔵書引当作業、蔵書点検、除籍作業、蔵書点検などを行っています。学校図書館の運営・管理として、生徒への本の貸出・返却、図書館だよりの作成、各書店への注文書の作成、選書のためのインターネット閲覧、展示物の作成、貸出・返却のためのカードやバーコードの作成、図書委員会の活動のための資料の作成などを行っています。紛失防止のためにパソコンはパソコンの台に鍵で固定されており、蔵書点検、除籍作業など、図書館の中から特定の大量の本のバーコードを読み込む必要のある作業を行う時、非常に不便な思いをしています。	学校図書館を利用する生徒に対し、蔵書検索用のパソコンとして使用したいと考えています。パソコンが1台しかないため、本の貸出・返却の作業と、蔵書検索が同時に行えません。現在学校図書館にあるパソコンは学校図書館の運営・管理のための使用が主であり、生徒が自由に使用できるパソコンがありません。生徒が自分で資料を探すという学習のためにも、生徒の利用を前提としたパソコンの必要性を感じます。生徒がいない時期（長期休暇など）には、蔵書点検・除籍作業といった業務にも、活用を考えています。震災での校舎の被害は壁の破損などがありましたが、大きな被害はありませんでした。原発事故に伴い、校庭・校舎の除染が必要になり、これまで2回の除染を行いました。また、相双地区からの避難生徒が16名在籍しています。 寄贈いただきましたパソコン、図書室にて活用させていただきます。本当にありがとうございました。
特別支援学校	インターネットに接続できるパソコンが1台。	インターネットでの調べ学習。図書館内の蔵書確認。 この度は誠にありがとうございました。
小学校	学校図書館用のパソコンはなし	蔵書管理用
中学校	図書システム用に1台設置。	図書システムの充実。図書室での調べ学習用。図書館、図書への直接的な被害はありませんでした。校舎、体育館に大きな被害がありました。

	パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
高等学校	カウンター（貸出・返却）用1台。生徒用（インターネット）1台。	蔵書検索用として使用したいと考えています。第一体育館、柔剣道場、和室および校舎の損壊がありました。現在は全て修復し、柔剣道場の改築も終了しています。図書館は、大きな損壊はなく、表示パネル（アクリル製）が多数破損しました。パソコンを受領いたしました。ありがとうございました。
高等学校	Windows 7のデスクトップ型パソコンを1台カウンターに設置し、貸出・返却業務、蔵書・利用者データ管理に使用しています。また、Windows XPのノート型パソコン1台を事務作業用として使用し、本の注文、蔵書点検その他、さまざまな作業を行っています。	Windows XPのサポートが終了したため、事務作業用のノート型パソコンではインターネットの接続を控えています。しかしながら、業務上、必要な場面も多々あり、不便な状況です。また、蔵書点検の際は、館内を移動しながらの作業となるため、ノート型パソコンを使用していますが、作動の不安定な場合が多く、作業に支障が生じています。ご寄贈いただけましたら、先に挙げました、インターネットを利用する業務、蔵書点検の他、Word・Excelを用いた展示物・資料作成・統計など幅広く活用したいと考えております。北側壁面に亀裂が入る。スチール書架が多数倒れ破損した。図書が数百冊飛散し、一部は損傷した。書架と図書は元の位置に戻しましたが、亀裂や書架のゆがみはそのままでの状態です。 この度はパソコン他、貴重な機器をご寄贈いただけるとのこと、ありがとうございます。今回の寄贈事業の案内は大変有難く、届きましたらぜひたくさん活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。
小学校	図書室にパソコンは無い。	この機会に少しずつ図書のバーコード管理ができるよう進めていきたい。古い本も多く、しっかりと管理することで、より充実した図書環境を子ども達に与えたい。校舎については、大きな破損等の被害はなかったが、敷地内では除染等の作業で校庭が使用できない期間があるなどの弊害があった。図書館教育充実のため有効に活用させていただきたいと思っております。
中学校	図書館にパソコンはありません。	図書館だけの作成。本の検索等。
高等学校	図書館総合管理用サーバー1台（Win 8）。図書館総合管理用クライアント（カウンター）1台（Win 8）。インターネット専用1台（Win 8）。	図書館総合管理システム運用のため。インターネット・メール使用のため。
小学校	現在、本校図書館には、パソコンが配置されておらず、図書館業務の電算化が進んでいない状況であり、管理面で大変不便な思いをしています。次年度、学校図書館の電算化システムが予算化され、導入される予定であります。それに使用するパソコンがない状況ですので、是非、貴事業協会のパソコンを寄贈いただくことで、活用を図っていききたいと考えております。	読書傾向を把握するための統計や蔵書点検などの業務の簡素化、貸出・返却の業務の時間短縮を図っていききたい。新規図書購入の際、分類別蔵書冊数一覧を活用しての図書の購入方針の決定、財源別金額一覧を活用しての予算管理に利用していきます。児童の表彰（学年や個人別の貸出ベスト10など）の資料としたり、図書館新聞などの作成にも大きく役立てたりしていきます。いずれは、近隣の学校図書館や地域の図書館との連携をし、蔵書の相互貸借も図っていききたい。

※沿岸部：海岸に接している市町村を指します。

【青森県・特別支援学校】

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
<p>全職員に校務用ノートパソコンを配布済みである。児童・生徒用パソコンは、リースによるデスクトップパソコンを9台準備し、パソコン室に設置している。小学部・中学部では、調べ学習や余暇活動を目的としたインターネット利用が多く、ホームルームや生活単元学習、昼休み等に利用している。高等部では、選択教科・情報として、週1時間授業として使用し、さらに小学部・中学部同様、調べ学習や余暇活動を目的としたインターネット利用をしている。</p>	<p>児童・生徒数に対してのパソコン台数が不足しており、児童・生徒用のパソコンとしての利用を考えている。運用方法としては、パソコン室設置ではなく、利用簿等を使って、各学級に貸し出し、少人数や個別の学習等に利用しやすいようにする予定である。インターネットを利用した調べ学習や余暇活動、マルチメディア教材を利用した課題活動や余暇活動として、また、特に高等部においては、タッチタイピングの習得練習用、技能競技大会（アピリンピック）参加生徒の各種課題練習用、情報セキュリティー等の繰り返し学習用としての使用を目的としたい。</p>
<p>教職員に対しては、県より配付されているが、児童生徒が利用できるものは、リースの4台（Windows 8.1と7各2台）と、Windows Vista9台である。Windows XPのパソコンは14台あるが、サポート切れで危険なので利用せず、廃棄の予定である。一見、多いように見えるが、リースのパソコンは情報処理室に配置し、さらに職業学科の実習で5台、寄宿舎生徒の学習用に4台必要であり、各教室に配置できる台数はない。なお、インターネットは各教室に設置されているLAN環境にパソコンを接続すると利用できる状況である。</p>	<p>児童生徒の各教室において、インターネットを活用したパソコンの操作練習や、調べ学習に活用する。スクリーンリーダーを使用することがあるため、可能であればメモリを2Gb以上にしてほしい。※スクリーンリーダーは画面に表示されている文字を読み上げるソフトで、全盲生徒が利用するためには必須のソフトで、メモリを必要とする。 この度はリース終了パソコン寄贈の申し出をいただき大変ありがとうございます。</p>
<p>本校のパソコンルームには、児童・生徒用に9台配備されているが、高等部では10人所属の学級もあり、一人に一台確保できる状況でなく、使用の順番を決めて利用させている。</p>	<p>高等部では、授業の中で進路に関する情報収集や産業現場等における実習の報告会のための提示資料の作成等に使用する。</p>

【福岡県・特別支援学校】

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
<p>幼児児童生徒用としてパソコン室に、4台のデスクトップ型があり、また、各クラスに持ち運びできるように、ノートブック型が13台あります。</p>	<p>本校は、視覚特別支援学校であり、画面音声化ソフトをインストールしているPCがほとんどです。先生方の中には「壊してしまったらどうしよう」という不安があり、特に、重複障害の幼児児童生徒への積極的な活用につながっておりません。そこで、子どもたちが自由に扱うことができるPCとして、活用していきたいと考えています。 本校にリース終了パソコン（2台）が届きました。本当に、ありがとうございました。本校の子どもたちは、将来の自立に向けた取組として、画面音声化ソフトを利用した情報検索や文章の作成、点字編集等の学習を授業の中で行ってまいります。また、パソコンが増えることで、重複障害の子どもたちの積極的な活用につながるものと考えており、職員一同喜んでいく次第です。</p>
<p>校長・事務職員及び教頭・教諭等には業務用のPCを割り当てている。しかし本校には実習助手、非常勤講師、看護職員及び寄宿舎指導員など業務用のPCを割り当てられていない職員が多数いるため、職員用のPCは不足している状況である。また、インターネット検索やドリル学習、専攻科の臨床実習において電子カルテ作成に用いるなど生徒が使用する授業用ノートPC稼働率は高いが、故障しているものもあるため、生徒用PCも常に不足している状況である。</p>	<p>生徒がインターネット検索やタイピング練習などで活用できるようにしたいと考えている。</p>

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
<p>現在、授業で使えるノートパソコンは11台のみで、全てのクラスが同時にパソコンを使う授業はできません。(幼稚部は合同学習で1台で十分でも、他のクラスが合計13クラスあるため、3クラスは不足します)</p>	<p>授業で使います。聴覚障害のために日本語能力の発達に遅れが生じやすい傾向がある幼児・児童・生徒達にとって、言葉の学習や学習のふりかえり、思考の材料等としてICTを利用した視覚教材の提示は不可欠です。現在のICT環境は十分ではありません。ご配慮願えれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>生徒用デスクトップパソコン10台（パソコン室）・生徒用ノートパソコン4台（教室、特別教室用）。生徒用パソコンは14台しかなく、各教室で調べ学習などをさせるときに不足している。</p>	<p>現在所有している生徒用ノートパソコンとあわせて使用し、教室での調べ学習に使用させたい。</p>
<p>学校全体で、生徒用のパソコンを31台保有しているが、各教室に1台という環境にはない。休み時間にノートパソコンと教材を持ち、教室へ移動する教職員を見受ける。</p>	<p>児童生徒の学習活動の様子を写真で発表したり、インターネットを利用した情報収集に活用したりする予定である。各教室へ移動可能なノートパソコンを希望する。</p>
<p>授業用パソコン：デスクトップパソコン13台（知的障害教育部門11台、肢体不自由教育部門2台）・ノートブックパソコン37台（知的障害教育部門23台、肢体不自由教育部門12台、保健室・医療的ケア職員用2台）</p>	<p>本校では、日常の授業や行事等において、知的障害をもつ児童・生徒に対して見通しをもたせたり、視覚支援を行ったりするための大型ディスプレイを所有しており、プレゼンテーションソフトを用いて作成した教材を生徒に見せるために使用したいと考えています。知的障害教育部門と肢体不自由教育部門を有し、それぞれに小・中・高等部のある全国有数の大規模校となりました。職員も200名近く在籍し、ICTを活用した授業の推進を図るためにはパソコンをはじめとするICT機器の充実が欠かせません。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>この度はありがとうございます。いただきましたパソコンにつきましては日常の教育活動において有効に活用させていただきます。心より御礼申し上げます。</p>
<p>デスクトップ型8台を高等部の作業学習（サービス）において10名の生徒が共有している。</p>	<p>高等部作業学習で、情報処理検定、ワープロ検定合格のためにMS-ExcelとMS-Wordで入力練習をしている。チラシやポスター等のポップ作成も行っており、一人一台でそれぞれの個性ある作品制作のために使用したい。情報モラル、マナー教育の指導のための一斉授業を行う上で最低でもあと2-4台は必要であるため。</p>
<p>児童・生徒用に買い取り（ノート型）とリース（デスクトップ型）を所有している。</p>	<p>教育情報化推進のため、ICTの活用授業の実践を推進している。各学級や授業で使えるように積極的に利用している。生徒数の増加により、現行数では希望に応じられないおそれがある。</p>
<p>本校におけるパソコンの設置状況は、児童・生徒が学習活動で使用する教育用パソコンが、パソコン教室設置のデスクトップ型パソコン6台であり、さらに、各教室に持ち込むことのできるノート型パソコンが3台である。一つの学級が授業でパソコン教室を使用する場合はパソコン台数が少ないために、パソコン1台につき2名の児童・生徒に学習させざるを得ない状況であり、学習活動に支障をきたしている。また、教員が使用している校務用パソコンは教育用に使用することは禁止されており、パソコン教室の6台のパソコンを児童・生徒は学習用として使用するしかない状態である。</p>	<p>インターネットを使った社会や理科、そして生活単元学習での調べ学習や学習ソフトウェアを使ったローマ字学習、ワープロ学習などである。また、写真や動画、音楽といったマルチメディア学習など多岐に渡っている。本校の児童・生徒はパソコン授業にとっても好感をもっており、台数によるパソコン使用の不自由さについてはとても残念がっている。このような現状を一刻も早く解消したいと考えておりますので、是非、貴協会からの寄贈を宜しくお願いいたします。</p>

【広島県・特別支援学校】

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
<p>ICTを利用した授業を行うためには、各教室にパソコンが配備されていることが望ましいが、本校においてはPC室の生徒用ノートパソコンを移動させて使用せざるを得ない状況である。現在PC室に、デスクトップパソコン(指導用1台・生徒用4台)、ノートパソコン(生徒用4台)が配備されている。総合的な学習でのワープロ検定練習や、調べ学習、学校行事の制作などで、生徒が活用している。また、視覚的支援を主な目的として、通常の授業においても各教室でノートパソコンを利用することがある。PC教室で授業が行われない場合は、持ち出して活用できる状態である。パソコンを持ち出さなければならない場合の頻度は高く、PC室以外には、授業活用できるパソコンが整備されていない状態である。同様に視覚的支援を目的として活用可能な電子黒板ユニットが3台整備されているが、それを活用するためには専用のソフトウェアをインストールしたパソコンが必要である。しかしながら、PC室のパソコンにはソフトウェアのインストールに対して厳しい制限がかかっており、電子黒板ユニットに接続して使うパソコンとしては利用できない状態である。また予算的にも別途ノートパソコンを購入することができない状態が続いており、折角整備されている電子黒板ユニットが活用できない状態となっている。</p>	<p>普段の授業での視覚的支援を主な目的として、プロジェクター投影をしたり、電子黒板ユニットと連携したりするためのパソコンとして、日々活用したい。幼児児童生徒がより理解を深めるために、ICT機器による授業支援は積極的に行っているが、活用が進めば進むほど利用可能な機器が日常的に不足しているのが現状である。PC室のパソコンを持ち出す形でなく、授業専用に使えるパソコンがあればという声は、教職員から日々聞かれていたが、予算的に入手できないのが現状だった。また、折角整備されている電子黒板ユニットを活用できずに困っていたので、ノートパソコンを2台ご寄贈いただければ、大変ありがたい。</p> <p>この度は、リース終了パソコン寄贈のご案内をいただき誠にありがとうございました。本校の教育活動を推進するため、ご協力いただければ幸いです。是非よろしくお願い致します。</p> <p>本日2台のPCが本校に届きました。迅速なご対応、ありがとうございました。これから本校の教育へ十二分に活用していきたいと思っております。どうもありがとうございました。</p>
<p>児童・生徒用情報教育パソコン デスクトップ型8台。電子黒板用パソコン5台。</p>	<p>電子黒板用パソコンが老朽化しているため、代替機種として使用を計画しています。また、学校行事では、プロジェクター使用に活用を計画しています。</p> <p>この度は、ノート型パソコンを御寄附いただき、誠にありがとうございました。御寄贈のノート型パソコン等は、大切に取り扱い十分に活用させていただき、ご寄附の趣旨に沿いたいと存じます。</p>
	<p>PTAにかかる文書作成。PTC活動・研修会で活用したい。</p>

【長野県・特別支援学校】

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
<p>寄宿舎の職員について、1人1台の体制が整っておらず、1台のパソコンを複数人で共有している状況にある。</p>	<p>寄宿舎の職員について、1人1台の体制を目指して配置していく。是非、ご検討いただくよう宜しくお願い致します。大変お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>全校でiPadが15台あり、児童生徒の実態に応じて使用しているが、児童生徒用のデスクトップパソコンやノートパソコンは整備されておらず、こうしたパソコンを使用するには、古いデスクトップパソコンや教員の私物ノートパソコンを使用している。</p>	<p>児童生徒が日常的に自由に触れることのできるパソコンを設置し、児童生徒による文書作成、作画、画像管理に使用したい。障がいのある児童生徒が自立するうえで一人で時間を過ごすことは大きな意味があります。そのためにパソコンの役割は大きいと考えます。障がいのある児童生徒が気軽に使用できるパソコンがあることは、学校環境を豊かにするうえで、たいへんありがたいことです。貴事業協会様のご厚意をありがたく拝受いたします。</p>

パソコンの状況	使用の目的【その他・被災状況等】
パソコン教室で児童生徒が使用する台数が8台しかない。高等部授業では生徒が一人一台ずつ一斉に使用したい場合もあるが、そのような形式の授業が出来ないため、講座を分け、複数回実施せざるをえない。	パソコン教室に設置し、授業用パソコン（生徒機）として設定し使用する。
小学校と共用のパソコン室に40台のパソコンがある。支援学校には、生徒が使っているパソコンはiPad 2台がある。	個別の課題学習において、視覚訓練、数概念の形成、文字学習の基礎、文字の学習、計算の学習、漢字の学習等に利用している。授業の中でも、プレゼンテーション、動画視聴、ネット検索等で利用している。
パソコン室に児童生徒用デスクトップ9台。持ち出して使えるノートパソコン4台。	普通教室でパソコンを利用する場面が多い。現在の4台では、使用する授業が重なることも多く、調整が難しい。また台数が増えることにより、一人一台使用も可能になる。授業においてパソコンを活用したいという声が多いので申し込みをさせていただきます。
児童生徒が使えるパソコンは本校9台、分教室5台。いずれも1クラスが使用できる状況であり、2クラスが同時に利用することは不可。	児童生徒が授業で使用する。
寄宿舎指導員用として十分に割り当てられていない。	児童・生徒用（教室等へ運んで使用するためのもの）1台、寄宿舎の職員用として1台の配置を考えている。
パソコン教室にデスクトップが十数台設置されているが、教育用としては不十分である。	ノート型であれば、教室に持っていき、教材の提示等に活用できる。
児童生徒用としては、高等部主体に4台です。XPサポート終了後使用ができなくなったため、Windows 7のパソコンが足りていません。また、医療的ケアの児童が増えており、そのための看護師さんの情報蓄積用のパソコンも必要になっております。	児童用1台。医療ケア看護師用1台。動画をみたり、教材のソフトの必要なメモリーもアップしているため、できるだけCPUメモリーの多いパソコンが必要ですのでご配慮いただけるとありがたいです。ありがとうございました。
生徒用全校共有パソコン（パソコン室）12台デスクトップPCのみ。	小学部生徒の学習用として教室に常備。3Dモデリングマシンの操作用として（高等部）。こういったお申し出、大変有難いです。ありがとうございます。いろいろとご配慮いただきありがとうございます。パソコンが不足しておりますので、貴協会の事業は本当にありがたく思っております。今後ともよろしくお願い致します。